



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡 2002 番地 Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604
<http://yahata-es.sado.ed.jp/> (HPにカラー版の学校だよりを掲載)

臨時休校・給食献立変更・水筒持参等へのお礼

校長 山崎 勝之

記録的な寒波により、佐渡市の1万世帯以上が断水するなど大きな被害が発生しました。自衛隊への災害派遣要請や被害状況が報道されるにつれて、非常災害なのだと思います。

給食センターの断水による献立変更で、30日は学校給食用非常食「救給カレー」を、31日には冷凍「ナン」を主食としていただきました。少しでも美味しく子どもたちに食べてもらうために、庁務員が家庭科室で「救給カレー」を温めて提供しました。冷凍「ナン」は、自然解凍して常温にさせていただくのですが、届いた時点では寒さのために解凍が間に合っていないものがあつたので、給食主任を中心に電子レンジや暖房機前で解凍しました。

食事中には、中越大震災のときに私が経験した、災害時の水や食糧確保の難しさ、非常食のありがたさについて、子どもたちに

話しました。今回の災害に際して、臨時休校に関する登校班内での情報共有、水筒準備などに対応して下さった保護者の皆様、非常食確保や断水復旧に向けてご尽力して下さった全てのご支援、ご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。



学校給食用非常食「救給カレー」

防災に向けて学校教育ができること

新潟県が作成している防災教育プログラムには、「雪災害編」があります。その高学年の内容に「雪に対する備えを知る」があります。例えば、雪囲い、消火栓の確保などです。

これに加えて、「凍結に対する備えを知る」ことも、今後は学習内容に加えていく必要を感じています。例えば、「気温が氷点下4度以下になると凍結や破裂が起こりやすい」「屋外でむき出しになっていたり、風当たりの強い場所にあつたりする水道管が凍結しやすい」「水道管を布などで覆って予防する」「凍結した場合は蛇口を全開にして、タオルなどで覆った上から50度程度のお湯をかけて、ゆっくりと解凍する」などです。

現在、新年度に向けて、様々な計画を見直しているところです。子どもに教えるべき内容は次々に増え、どの時間に、どんな内容を教えるかを計画し、確実に実施することがますます重要になっています。子どもが生きていく上で必要な知識や技能を身に付けさせることを大切に、保護者の皆様、地域の皆様と協力して、価値ある体験や学習を提供していきたいと思っています。

通学路や歩道の除雪についてのお礼

自宅付近の通学路、歩道除雪にかかわり、多くの皆様が安全な登下校のためにご尽力くださいました。朝4時から歩道除雪をして下さった方もいらっしゃいました。ありがとうございました。



自治会が購入した除雪機で通学路の歩道を除雪してくださっている本間東三夫様

児童玄関前を除雪してくださる後藤孝治様

後期児童・保護者アンケートの結果

児童アンケートの結果

No.	項目	よく	少し	あまり	全然	肯定的
1	授業で学習していることが分かる。	40人	17人	1人	1人	97%
2	家庭学習は、計画を立てて、決めた学習をやりとげることができた。	43人	11人	4人	1人	92%
3	佐渡や地域、八幡小の良さを調べ、まとめたり、伝えたりすることができた。	41人	14人	4人	0人	93%
4	佐渡や八幡等の住んでいる地域を好きになってきた。	50人	8人	1人	0人	98%
5	友達に思いやりをもって接したり、優しい言葉がけをしたりすることができた。	42人	12人	5人	0人	92%
6	休み時間は、進んで運動や外遊び、体育館遊びをしようとしている。	41人	13人	3人	2人	92%
7	強調週間以外の期間、食器を持ち、残さず好き嫌いなく、バランスよく食べる。	38人	18人	2人	1人	95%

保護者アンケートの結果

No.	項目	4	3	2	1
1	お子さんが佐渡や八幡にかかわって、どんな学習をしているか分かる。	分かる 33人	ほぼ分かる 24人	あまり分からない 2人	ほとんど分からない 0人
2	お子さんは、8月～12月、学校や島内の催し物や大会、ボランティア等に参加している。(スポーツ、草取り、育成会キャンプ、海岸清掃等)	複数に参加した 53人	一つ参加した 5人	参加できなかった 1人	
3	お子さんは、月～金1日当たりどれくらいの時間、勉強(学習塾も含む)していると言っていますか。	2時間以上 4人	学年×10+10分以上 30人	だいたい学年目標時間 21人	目標より少ない 4人
4	お子さんは、いじめ(意地悪、ズボン下ろし等)が許されないことだと理解している。	理解している 43人	ほぼ理解している 16人	あまり理解していない 0人	ほとんど理解していない 0人
5	お子さんは、友達に思いやりをもって接したり、優しい言葉がけをしたりしている。	言葉がけがある 20人	ほぼある 37人	あまりない 2人	ほとんどない 0人
6	お子さんは、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオを見たり、ゲーム、パソコン、スマホをしたりしますか。	1時間より少ない 6人	1～2時間 33人	2～3時間 12人	3時間以上 8人
7	強調週間以外の期間、(低)食器を持ち、残さず、(中)好き嫌いなく、(高)バランスよく食べる	いつもできている 17人	ほぼできている 34人	あまりできていない 7人	ほとんどできていない 1人

保護者アンケートに書かれたご意見を抜粋してご紹介いたします。

・記念の年にふさわしい地域とのつながりを感じる1年だった。文化祭、地域の方々とのやり取りも良かったです。
 ・八幡キャリア教育フォーラム、素敵な取組だと思います。
 ・チューリップ大作戦は以前、希望参加者だけであったが学校側で全員参加型にいただいたお陰で非常に参加しやすくなった。とてもお世話になっている自治会、地域の方々の為にお手伝いができる機会が増えて非常に良かったと感じました。
 ・チューリップ大作戦では重く大変なこともみんなでもやると楽しいこと、体を動かした後の芋煮会はより美味しいこと、チューリップの咲く春を楽しみにすることを言葉で教えるのではなく、子供達自身が感じる事ができて良かったです。
 ・地域の行事などを子供達と一緒に楽しめることがすごく大切なことだと思いました。できるだけ親御さんも一緒に参加できると一層楽しみになり、子供のことを解ってあげられるのかなと思いました。

・1日拘束されるので、チューリップ大作戦と芋煮会、キャリア教育フォーラムは別の日にしてほしい。

回答:ご要望、ありがとうございます。平成28年度より、チューリップ大作戦、芋煮会、キャリア教育フォーラムを実施する1日を「自分と八幡の未来を考える日」として、地域のために働く皆様方と親子で一緒に活動し、多忙な日々の中でも敢えて立ち止まって将来のことを考える1日にしたいと考え、PTA会長とも相談して1日設定にしてみました。1家庭から複数の大人が参加して下さっているご家庭も多くあります。入学前の子、中学生、高校生がおり、小学生以外の家族への対応で、調整が難しいご家庭があることも承知しております。PTA役員全体会等でもご意見をいただき、検討していきたいと思っております。

・音楽発表会のトランペット演奏を聴かせてもらえなかったことがとても残念でなりません。聴ける学校とそうでない学校があり不公平です。八幡小の生徒も“本物”に触れ、どんどん感性を磨いてほしいと思います。よろしく願いいたします。

回答:6月27日には大阪交響楽団演奏会(3管編成76名)を全校児童で鑑賞したり、5月10日にはカラリパヤット講演会を開催したりと、予算や授業時数の制約の中ですが、児童が“本物”に触れる機会を大切にしています。八幡小は、例年午前中に発表順を割り振られているので、午後1時からの特別演奏を鑑賞するためには、お弁当を持参する必要があります。PTA役員全体会等でもご意見をいただき、検討していきたいと思っております。なお、今年度の特別演奏は、音楽教室で指導をしているトランペット奏者、渡部遙さんと新潟中央高校で音楽を教えているピアノ奏者、品田真彦さんによるものでした。

学校関係者評価委員会でいただいたご意見を抜粋してご紹介いたします。

・クリーン作戦など、地域をよくするための児童の自発的な活動がすばらしい。地域貢献活動を充実させてほしい。
 ・どんど焼きなど、地域主催の行事に参加する保護者と子どもが増えて、地域のお年寄りが感動していた。
 ・もちつき大会等に地域のお年寄りの参加者が例年以上に多く、児童が書いた年賀状によるお誘いが効果的だった。
 ・相撲大会の蹲踞の姿勢など、取組以外の部分もすばらしかった。ボール投げ等でも地域指導者を活用してほしい。
 ・あいさつ指導の成果が現れている。さらに、あいさつの意味、相手がどんな気持ちになるかという指導を大事にしたい。